

第77号 2020年 12月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

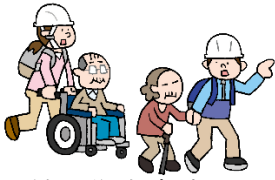
- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
復生会全体で連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



新型肺炎感染拡大の中で思うこと

看護部長 杉山美貴子

令和2年も残すところあと1か月となりました。今年は新型肺炎の影響により、例年とは違う時間を過ごされてきた方が多いのではないのでしょうか。神山復生病院でもボランティアの皆様の活動が中止され、様々なお楽しみ行事も規模を縮小する、あるいは取りやめとし、外部との交流を最小限に抑えた毎日となりました。そのような時間の中でも中止することなく繰り返されているのが、復生会をご利用いただいている患者様に対するケアです。毎日毎日休むことなく、患者様が安心して療養生活を送ることができるように、職員は療養上のお世話を中心にケアをさせていただいております。また、ご面会も最小限の制限とし、患者様やご家族様の不安解消に努めております。看護や介護は置かれている環境が大きく変化しても、その中でできることを模索しながら、何とかケアが継続できるようにと努力します。職員自身も家族があり、不安の声も上がります。しかし、私たち医療従事者のために、多くの皆様からのご支援もいただいております。その温かい励ましを力に、何とかこの厳しい状況を、神山復生病院の理念のもとに一致団結して、乗り越えていく努力を続けて参りたいと存じます。



合同避難訓練

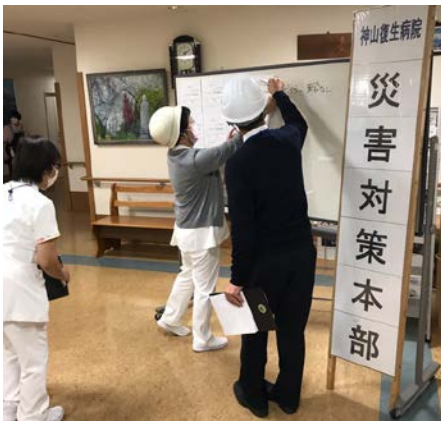
事務部 後藤和也

神山復生病院では、消防訓練、防災訓練、防犯訓練に加え、マリアの家や記念館も含めた、法人全体による合同避難訓練を行っています。今年は11月11日に実施しました。

今回の訓練では、昨年度の反省点、改善案を盛り込み、各部署に院内放送の内容、避難に向けた準備行動の理由、避難開始に至る流れを事前に周知しました。

訓練中は、想定した発災後、対策本部を設置し、各部署からの情報収集等、円滑に行うことができました。課題であった避難準備から避難開始においては、入所者様にも訓練に参加をしていただき、滞りなく実施出来ました。

実際に被災した場合においても、入院・入所されている皆様に安心していただけるよう、今後も各部署ごとに協力し合って訓練を行っていきます。



各部署の被害状況の報告を受けています



建物などの被害状況確認のため全員外に集まりました



秋の収穫祭

介護医療院 吉原紀江

山々が多彩に紅葉する頃、当院でもたくさんの実りがありました。毎年恒例行事であった『秋の収穫祭』・・・以前は、ホスピス病棟の方々も一緒に皆で楽しんできた行事でしたが、今年は介護医療院内でのイベントとなりました。渡り廊下には入所者の方々によって、折り紙の『コスモス畑』と『もみじ』が広がりました。作成時の皆様と風景の写真も展示され、ご家族様にとっては、生活の一部をご覧になる機会になられたと思います。リハビリ室前の廊下には（スタッフが画用紙で作成した）きのこ・さつまいもが収穫され、少しでもぶどう狩りの雰囲気をと美味しそうな巨峰が実りました。そして、何といっても秋は食欲！お楽しみは・・・エームサービスさんの愛情たっぷり！『かぼちゃのスイーツバイキング』でした。皆様、お好みの物を好きなだけ頬張り、たくさんの笑顔も実った秋の介護医療院でした。そんな皆様の笑顔に職員のころにもたくさんのしあわせが実りました。



病棟もすっかり秋の装いです



今年度の遺族ケアについて

ホスピス病棟 久保智子
井林未記



当院では毎年カトリック教会の「死者の月」にあたる 11 月に遺族ケアとして追悼ミサと茶話会を開催しております。前年 7 月～本年 6 月末までにお別れした方々のご家族をお招きしてお祈りをし、故人の思い出やご家族の思いをスタッフとともに語り合ってきました。今年は残念ながら新型コロナウイルス感染予防のため皆で集うことが難しく、追悼ミサ・茶話会の開催は中止せざるを得ませんでした。

お会いできなくても少しでもご家族との繋がりを持ちたいと思い、今年を対象のご家族にカードを送付し、メッセージを返送して頂くことにしました。「そちらで元気にしていますか?」「孫が増えましたよ」「共に祈ります」といったメッセージが届いています。

カードをご返送いただいたご家族に対し、12 月以降スタッフから返事を差し上げ、双方向のやりとりで少しでもご家族の思いを受け止めることができればと思っています。



御殿場看護学校基礎Ⅰ実習が始まりました



看護部長 杉山美貴子

11 月 18 日より御殿場看護学校基礎Ⅰ実習が神山復生病院介護医療院において始まりました。今年は新型コロナウイルスの影響により、実習が例年通り行えない学校もあると聞いております。そんな厳しい環境下ではありますが、復生病院では無事に初めての実習を始めることができました。今回は 4 名の学生さんが看護に臨みます。これまで学校で学習したことを実際の現場でどのように展開していくのか、まさに試行錯誤の日々が続くと思います。受け持ち患者さんとどのようにコミュニケーションをとっていけば良いのか、一番初めの高いハードルです。毎日、毎日が不安との戦いだと思いますが、ぜひ実習の最終日には「復生病院で実習できて良かった」と思っただけのように、実習指導者はじめスタッフ全員で支援していくつもりです。学生の皆さん、体調管理をしっかり行い、みんな笑顔で実習最終日を迎えることができるように頑張りましょう!!



今回のおすすめ

【メリールウ「シュトーレン」】



1本 2300 円
ハーフサイズ 1150 円

今回紹介するのは、当院の近く、神山平にあるメリールウというパン屋さんのシュトーレンです。〈シュトーレンはクリスマスを待つ間に食べるドイツの伝統菓子。〉シュトーレンという言葉自体は坑道という意味ですが、砂糖に包まれたその姿は、白いおくるみに包まれた幼子イエスをイメージしているとも言われています。バターたっぷりの生地の中には、洋酒につけたドライフルーツ、ナッツがぎっしり! ちょっと大人向けのリッチな味わいと、日に日に味がなじんで変化していくのが特徴です。この時期色々なところで見かけますが、このお店のシュトーレンは美味しいです。薄く切って長い期間楽しんでいます。コーヒーや紅茶、ウイスキーやワインなどお酒にも合いますよ。ハーフサイズもありますので、是非食べてみてください。

(紹介者 記念館 森下裕子)

外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※インフルエンザ予防接種予約受付中！

皮膚科外来予定表

12 / 5	診察日	太田有史医師
12 / 12	診察日	細井美都医師
12 / 19・26	診察日	石地尚興医師



敷地内で集めた松ぼっくりお分けします



復生病院で拾った木の実でリースを作るイベントを記念館で開催しようと、コツコツ松ぼっくりを集めていましたが、今年の開催は中止することになりました。せっかく集めた松ぼっくり、もったいないのでほしい方にお分けします。見本を病院ロビーに置いておきますので参考にしてみてください。

ご希望の方は復生記念館別館まで、内線 200 番、外線 0550-87-3509 まで連絡してください。



100 円ショップなどでパーツを見つけ、リース、ツリー、オーナメント、ハリネズミなど作ってみました。今年は松ぼっくりを漂白剤で白くしてみました、自然な風合いで素敵に仕上がりました。良かったら作ってみてください。
(記念館 森下)

編集後記



本格的な冬となり、日に日に寒さが厳しさを増しております。

コロナに加え、インフルエンザも流行する時期になりました。

手洗い・消毒・マスクの装着・密を避け、体調管理に気を付けて良い年末年始をお迎えください。

次号も、お楽しみに～

お